初校 | 制作会社：(株)ひでじま　制作者：寺内
04.08.23 | 校正者：菅谷

A2size
MAJ-892／P04-01

MAJ-892　AW11　2004年10月1日発行

トステム株式会社

室内面格子（固定式）　取付け説明書

●この説明書は、必ず施工される方にお渡しください。

■取付けられる方へのお願い

●本説明書で使われているマークには、以下のような意味があります。

⚠警告 …取付けを誤った場合に、使用者が死亡又は重傷を負う危険が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

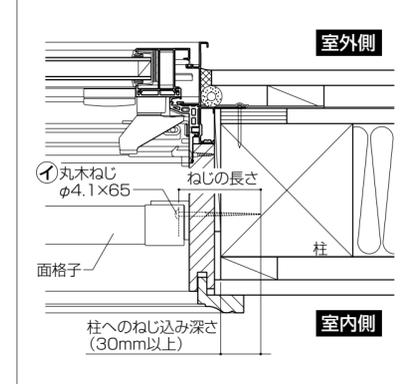
⚠注意 …取付けを誤った場合に、使用者が中程度の傷害・軽傷を負う危険又は物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読みください。

⚠警　告

●幼児の転落防止のため、下記事項を厳守してください。
・FL（床面）から額縁上端までの高さが650mm以下の場合は、取付けないでください。幼児が足をかけ、のぼるおそれがあります。

⚠注　意

●面格子の外れ・落下のおそれがありますので、下記事項を厳守してください。
・面格子は、手すりとして使用しないでください。手すりとしての強度はありません。
・当製品は木造躯体専用です。ALC・RCなどの躯体には取付けないでください。
・取付け前に必ず、柱の位置・寸法、内装材・下地材の厚さを建築図面で確認してください。
・枠は必ず柱に指定のねじで取付けてください。
　柱のない部分には取付けないでください。
・柱へのねじ込み深さは30mm以上確保してください。
・強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。
・仮固定の状態では面格子から手を離さないでください。面格子が落下するおそれがあります。
・必ず本締めをしてください。仮固定のままでは面格子が落下するおそれがあります。
・面格子本体取付け後、面格子をゆすってガタツキのないことを確認してください。

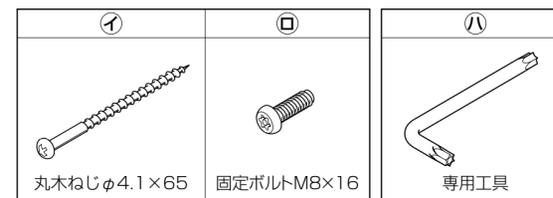
■柱へのねじ込み深さ（横断面図）

■取付け上のお願い

●不在の時は、人が侵入するおそれがありますので窓を施錠してください。
●サッシのハンドルなど動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。
●固定ボルトは必ず専用工具（別売品）で締め付けてください。
●固定ボルトは、面格子本体のガタツキがなくなる程度に締め付けてください。締めすぎると面格子が変形します。
●左右の枠は、高さ方向・前後方向とも同じ位置に取付けてください。

■取付け部品一覧表

イ	ロ
丸木ねじφ4.1×65	固定ボルトM8×16

■別売品

ハ
専用工具

■取付け順序

1 取付け位置の確認

■取付け詳細

1 取付け位置の確認

【取付け高さの確認】
※FLから額縁上端までの高さが651mm以上あることを確認してください。

⚠警　告
●FL（床面）から額縁上端までの高さが650mm以下の場合は、取付けないでください。幼児が足をかけ、のぼるおそれがあります。

【取付け高さ】
室内面格子　額縁　額縁上端　FL（床面）　651以上

【取付け面の確認】
※面格子の固定に支障がないように、下記事項を確認してください。
①取付け面が木額縁、又はクロス（壁紙）仕上げであることを確認してください。
②取付け面に段差がないことを確認してください。
③取付け面の垂直が正しく出ていることを確認してください。

---

5 面格子本体の固定

固定ボルトM8×16　専用工具（別売品）　格子　取付面（額縁）　C部　C部　面格子本体　室内側

5 面格子本体の固定

①面格子本体にある固定リングに固定ボルトM8×16を挿入し、専用工具（別売品）で左右をねじ止めします。

⚠注　意
●強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。
●面格子本体取付け後、面格子をゆすってガタツキのないことを確認してください。

お願い
※固定ボルトは必ず専用工具（別売品）で締め付けてください。
※固定ボルトは、面格子本体のガタツキがなくなる程度に締め付けてください。
　締めすぎると面格子が変形します。
※専用工具を格子に当てないようにねじ止めしてください。

■建付け調整機能について
●本製品は造作材の仕上がりのばらつきを考慮し、出来幅を調整可能としています。
※面格子本体と枠のズレが4mmを基準として、左右それぞれ±4mmの調整が可能です。
●取付の際は、ズレが左右均等になるようにしてください。
（目安4mm）

■C部詳細図
上　キャップ　枠　4mm（目安）　室内側　固定リング　ロ固定ボルトM8×16　ハ専用工具　面格子本体　4mm（目安）　下

■参考納まり図

■縦断面図（室内面格子H=460の場合）

30　20　250以下　面格子H（460）　h:内法基準寸法（700）　H（770）　φ30　100　35　4　50以上（標準値:50）　100以下　カムラッチハンドル位置　20　40　651以上　室外側　室内側　FL（床面）

■横断面図（室内面格子W=600の場合）

室外側　35　4　φ30　24.5　31〜39（調整寸法±4mm）　面格子出来寸法（600）　20　w:内法基準寸法（600）　20　W（640）　室内側

図番	用紙サイズ	形式	刷色数	折り数	設指番号
E043SI0001-01	A2	新聞	2	16	ST-0757

初校	制作会社:(株)ひでじま　制作者:寺内
04.08.23	校正者:菅谷

A2size
MAJ-892／P02-03

2 取付け位置の墨出し

3 枠の取付け

2 取付け位置の墨出し

【高さ方向の墨出し】（図-1）

①室内右側の取付面に面格子本体を当てがい、面格子縦枠底面から下部木額縁上端までの距離が80mm以下で、且つ面格子縦枠上面から上部木額縁下端までの距離が230mm以下となる位置に合わせます。

※面格子の格子が1本の場合は、面格子縦枠底面から下部木額縁上端までの距離が34.5mm以下で、且つ面格子縦枠上面から上部木額縁下端までの距離が184.5mm以下となる位置に合わせます。

お願い
※サッシ・網戸の部品に当たる場合は、当たらない位置まで上下移動してください。
※サッシのハンドルなど、動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。

②鉛筆など（後で消せるもの）で、面格子縦枠底面に沿って墨出しをします。

③室内左側は、右側と同じ高さに墨出しをします。

お願い
※墨出し距離は、必ず左右共に同じであることを確認してください。

（図-1）
面格子縦枠上面
上部木額縁下端
230mm以下
（1本格子の場合は184.5mm以下）
面格子本体
取付面（木額縁）
室内側
80mm以下
（1本格子の場合は34.5mm以下）
下部木額縁上端
面格子縦枠底面

【前後方向の墨出し】（図-2）

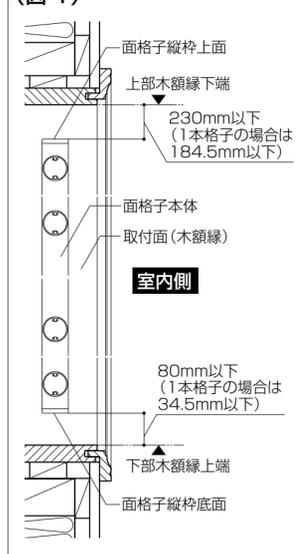
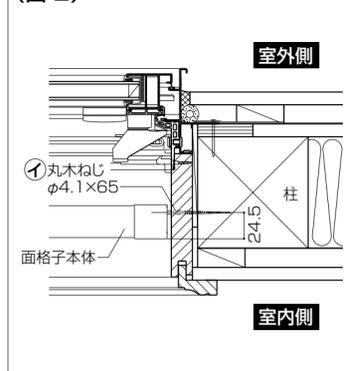
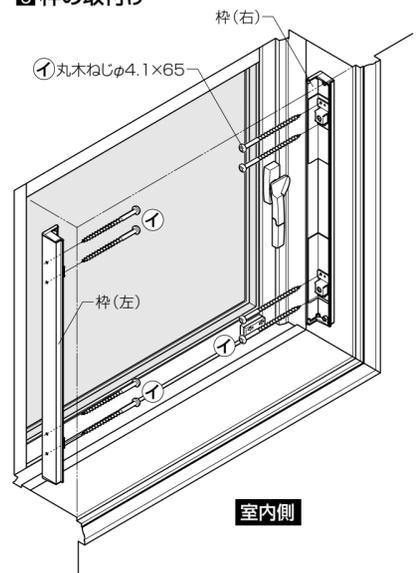
①室内右側の取付面に面格子本体を当てがい、丸木ねじφ4.1×65が柱に止まる位置に合わせます。

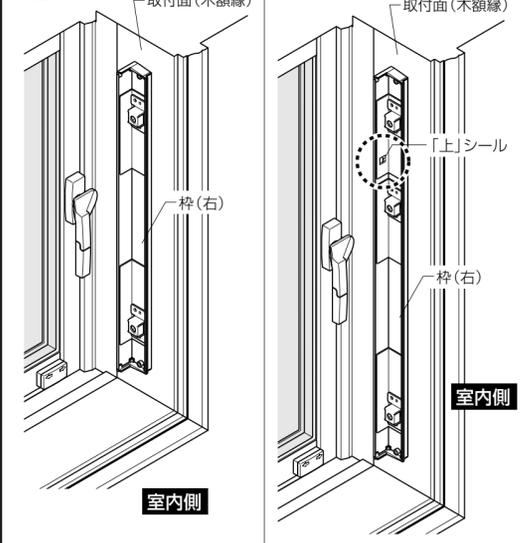
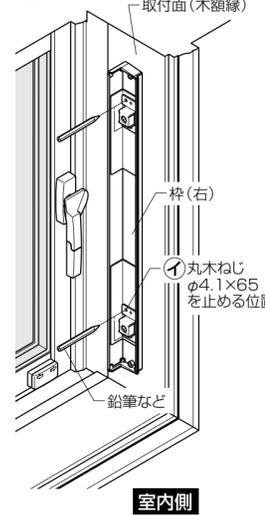
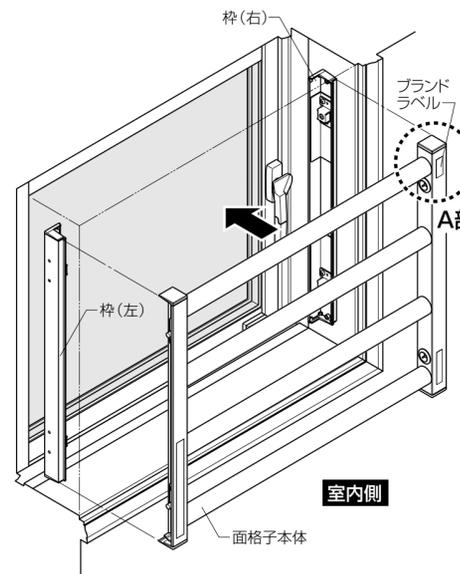
お願い
※サッシ・網戸の部品に当たる場合は、当たらない位置まで前後移動してください。
※サッシのハンドルなど、動く部品や開閉式の網戸がある場合は、操作できることを確認してください。

②鉛筆などで、面格子縦枠の室内面に沿って墨出しをします。

③室内左側は、右側と同じ位置に墨出しをします。

お願い
※墨出し距離は、必ず左右共に同じであることを確認してください。

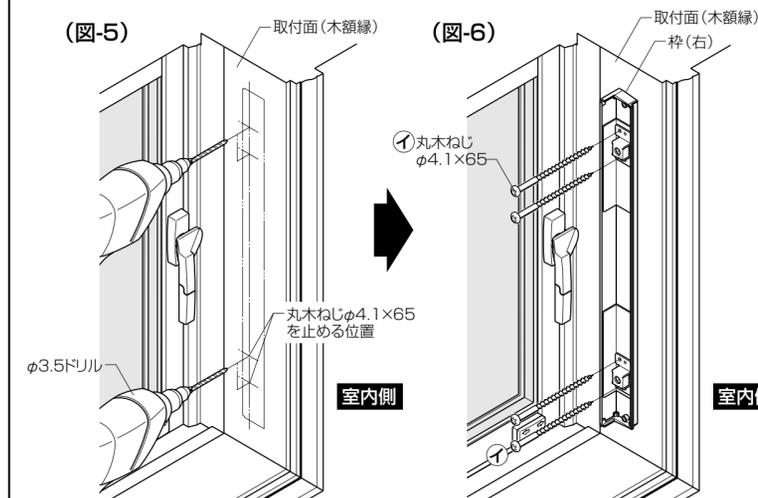
（図-2）
室外側
イ 丸木ねじφ4.1×65
柱
24.5
面格子本体
室内側

3 枠の取付け

①枠（右）の向きを確認してください。（図-3）
※格子が5本以上の場合は上下がありますので、「上」シールを上にして取付けてください。

②枠（右）を取付面の墨出し位置に合わせて、丸木ねじφ4.1×65を止める位置に鉛筆などで目印を付けます。（図-4）

③②の目印にφ3.5のドリルで下穴をあけます。（図-5）
④枠（右）を取付面に丸木ねじφ4.1×65で取付けます。（図-6）
⑤同様に枠（左）も①～④の手順で取付けます。

⚠注　意
●枠は必ず柱に、指定のねじで取付けてください。柱のない部分には取付けないでください。
●強度を保つため、必ず指定のねじ類を指定の数量使用してください。

お願い
※左右の枠は、高さ方向・前後方向とも同じ位置に取付けてください。

4 面格子本体の仮固定

枠（右）
ブランドラベル
A部
枠（左）
室内側
面格子本体

4 面格子本体の仮固定

※固定ボルトM8×16と専用工具（別売品）を準備します。
①面格子本体の向きを確認してください。（A部）
※ブランドラベルを室内側（右上）にしてください。
②面格子本体を室内側から枠にはめ込みます。（図-7）

⚠注　意
●仮固定の状態では、面格子から手をはなさないでください。面格子が落下するおそれがあります。
●必ず5の本締めをしてください。仮固定のままでは面格子が落下するおそれがあります。

お願い
※四隅のキャップが、すべてはまったことを確認してください。

図番	用紙サイズ	形式	刷色数	折り数	設指番号
E043SI0001-02	A2	新聞	2	16	ST-0757